

令和5年度 学校関係者評価【学校評議員】

紙面・Forms によるアンケート調査 計 4 名

評価項目		評価				意見・要望
		←→				
		4	3	2	1	
1	教育目標 教育目標を分かりやすく伝えている	3	1	0	0	
2	教育実践・教育活動 教育課題について適切に取り組んでいる	3	1	0	0	・教科も大事だが体験的な活動も大事。 ・小学部から生活経験を積み重ねる事で、色々な事に対する対応方法が身についていくと感じました。
3	健康・安全 健康・安全教育に適切に取り組んでいる	4	0	0	0	・肢体不自由の場合、姿勢を考えていかないとけない。姿勢がきつかったら学習に向き合えない。楽な姿勢について考えることは大事。姿勢は自立活動で取り組む内容なので、中身を大事にして欲しい。
4	教育相談・進路指導 適切な進路指導や教育相談に取り組んでいる	2	2	0	0	・キャリア教育の取り組みについて、卒業生の進路講話や、職場見学など得意な事や好きな事を活かして将来になりたい自分の姿を描き、卒業後の生活を視野に入れる！小学部の早い段階から将来を見越して取り組まれています。 ・小学部からの職場体験、見学などはとても良いと思います。親にとっても、子にとっても早いうちから考えられるのは良いことだと思います。一方で進路講話の知らせが当日だったので、とても聞きたかったのですが参加出来ませんでした。とても残念です。医ケアの親で行きたかったという声は私の他にもありました。
5	環境整備 施設・設備等、教育環境の整備に努めている	4	0	0	0	・学校に来る時に外の壁も整理され気持ちいい。外側もきれいにすることによって行きやすさがでてる。介助員が担っている頑張りはすごい。
6	家庭や地域との連携 PTAや地域と連携し、円滑な学校運営に取り組んでいる	0	4	0	0	・北部には色々足りなくて不安な事が多いので、少しでも進路情報や子供達に関わる事はちょっとした事でも参加して聞いておきたいです。
7	組織体制、その他 校長のリーダーシップのもと、学校が適切に運営されている	3	1	0	0	

・本校の教育活動について、いろいろな視点からのご指摘、ありがとうございます。肢体不自由・病弱を障害種とする本校において、重要となる自立活動、児童生徒の「楽な姿勢を考える」視点は職員へ周知し、指導に活かしていきたいです。

・進路指導では、昨年度の課題でありました「学校全体でのキャリア指導」から、一部の児童生徒ですが小学部での職場見学、中学部の就業体験を実施しました。親子で早い段階から将来について考える機会となりました。次年度へ継続し、進路講演会などの研修では、保護者に事前に周知していきます。同時に、いま学習していることが卒業後のどの力に生かされるのか、繋がっているのか、職員間でも共通理解し、教材等の目的等、保護者に分かりやすく伝える努力をしていきます。

・環境整備については、現業部職員の力が大きく、気持ちよい環境で学習できていることに感謝しています。